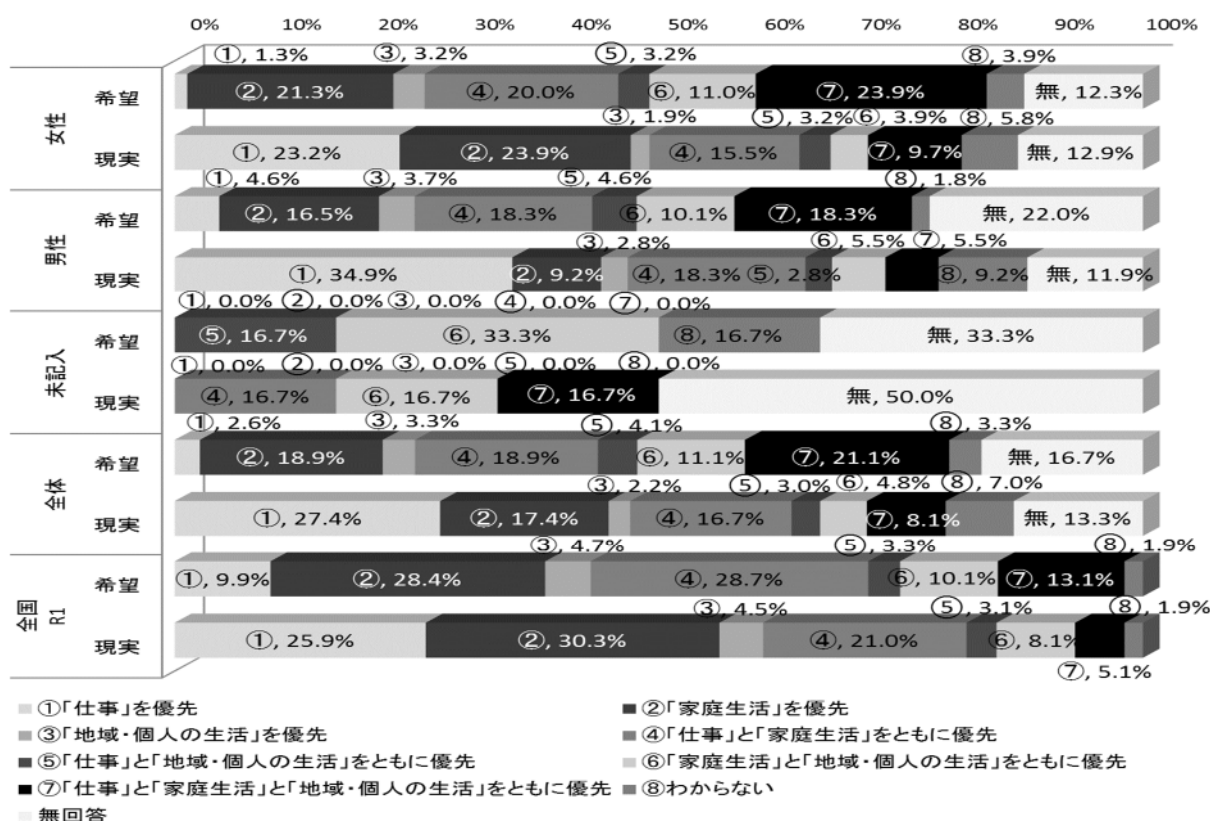


3. 仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）について

問8 あなたが希望するライフスタイルに最も近いものはどれですか？また、あなたの現実（現状）に最も近いものはどれですか？

- ①「仕事」を優先
- ②「家庭生活」を優先
- ③「地域・個人の生活」を優先
- ④「仕事」と「家庭生活」をともに優先
- ⑤「仕事」と「地域・個人の生活」をともに優先
- ⑥「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先
- ⑦「仕事」と「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先
- ⑧ わからない

【全体(性別比・全国比)(R1)】



(女性)

- ・ 希望で一番高い割合は『⑦「仕事」と「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先』で 23.9%、次いで『②「家庭生活」を優先』で 21.3%
- ・ 現実で一番高い割合は『②「家庭生活」を優先』で 23.9%

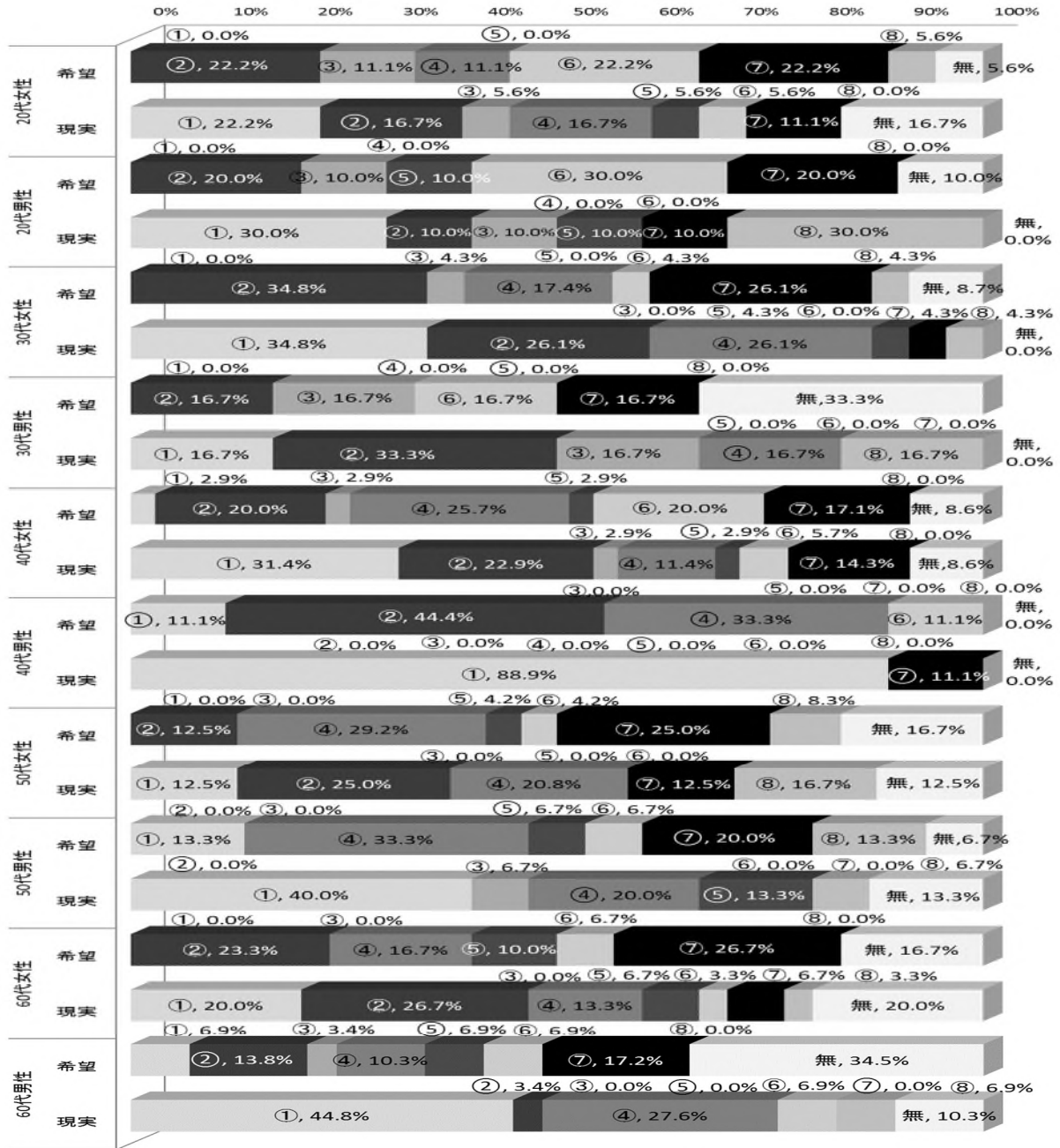
(男性)

- ・ 希望で一番高い割合は『④「仕事」と「家庭生活」をともに優先』と『⑦「仕事」と「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先』で、ともに 18.3%
- ・ 現実で一番高い割合は『①「仕事」を優先』で 34.9%

(全体)

- ・ 希望で一番高い割合は、全国では『④「仕事」と「家庭生活」をともに優先』で 28.7%だが、石狩市民は『⑦「仕事」と「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先』で 21.1%
- ・ 現実で一番高い割合は、全国では『②「家庭生活」を優先』で 30.3%だが、石狩市民は『①「仕事」を優先』で 27.4%

【性別・年代別(R1)】※20代～60代の就業年代を抜粋

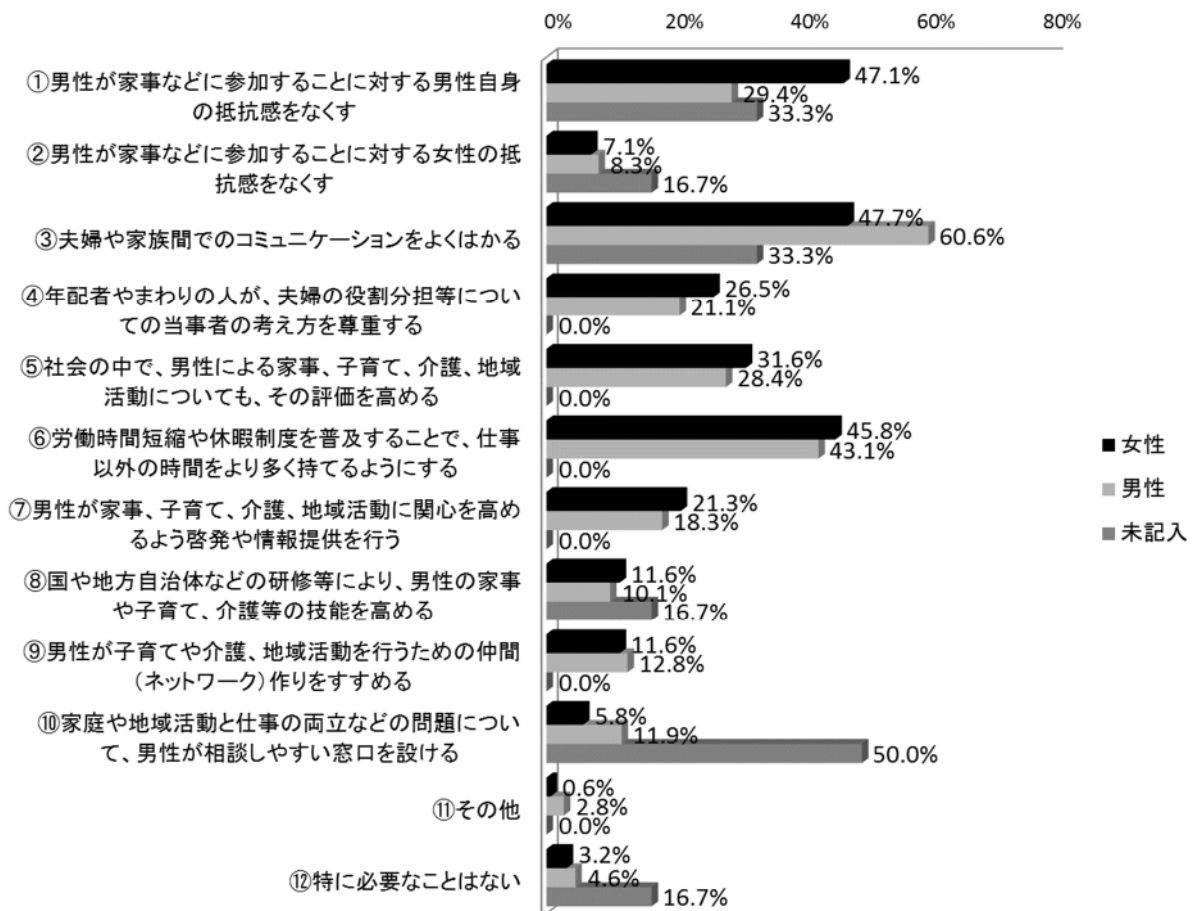


- ①「仕事」を優先
- ②「家庭生活」を優先
- ③「地域・個人の生活」を優先
- ④「仕事」と「家庭生活」をともに優先
- ⑤「仕事」と「地域・個人の生活」をともに優先
- ⑥「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先
- ⑦「仕事」と「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先
- ⑧わからない
- 無回答

- ・ 希望するライフスタイルとして、20、30代男女、50、60代女性はいずれも『①「仕事」を優先』と回答している人は少なく、それ以外の男女も1割前後で、仕事を最優先と考えている人は大変少ない
- ・ 一方、現実では、多くの世代で仕事を優先している割合が一番高く、特に40代男性は88.9%の人が『①「仕事」を優先』と回答
- ・ 30代男性、50、60代女性は、現実で『②「家庭生活」を優先』と回答した人の割合が一番高く、その他の世代も『①「仕事」を優先』の次に『②「家庭生活」を優先』や『④「仕事」と「家庭生活」をともに優先』と回答した人の割合が高いなど、家庭生活も優先している人が多い

問9 今後、男性が女性とともに、家事・子育て・介護・地域活動に積極的に参加していくためには、どのようなことが必要だと思いますか？（3つまで）

- ① 男性が家事などに参加することに対する男性自身の抵抗感をなくす
- ② 男性が家事などに参加することに対する女性の抵抗感をなくす
- ③ 夫婦や家族間でのコミュニケーションをよくはかる
- ④ 年配者やまわりの人が、夫婦の役割分担等についての当事者の考え方を尊重する
- ⑤ 社会の中で、男性による家事、子育て、介護、地域活動についても、その評価を高める
- ⑥ 労働時間短縮や休暇制度を普及することで、仕事以外の時間をより多く持てるようにする
- ⑦ 男性が家事、子育て、介護、地域活動に関心を高めるよう啓発や情報提供を行う
- ⑧ 国や地方自治体などの研修等により、男性の家事や子育て、介護等の技能を高める
- ⑨ 男性が子育てや介護、地域活動を行うための仲間（ネットワーク）作りをすすめる
- ⑩ 家庭や地域活動と仕事の両立などの問題について、男性が相談しやすい窓口を設ける
- ⑪ その他
- ⑫ 特に必要なことはない



➤ 「⑪その他」の意見の詳細は、P69をご覧ください

- ・ 最も多かったのは男女とも「③夫婦や家族間でのコミュニケーションをよくはかる」で、女性は47.7%、男性は60.6%、全体では52.6%の人が選択
- ・ 全体で2番目に多かったのは「⑥労働時間短縮や休暇制度を普及することで、仕事以外の時間をより多く持てるようにする」で43.7%、3番目は「①男性が家事などに参加することに対する男性自身の抵抗感をなくす」で39.6%の人が選択